

第 6 学年の実践

総合的な学習の時間

修学旅行で訪れた会津のよさを伝えよう！ ～Webページを作って公開する～

授業者 森田賢司・佐和伸明

概 要

本校の修学旅行は、毎年一泊二日で日光に行っていた。今年は、子ども達から交流学习を続けている赤沢小のみんなに会いに行きたいという意見が出た。そこで、学年全体で修学旅行の目的を考え、自分たちの力で作り上げる修学旅行にしたいということになった。学校や親からの協力も得られ、会津若松の修学旅行を実施出来ることになった。1学期は、総合的な学習の時間を使って会津地方のことについて、いろいろな分野に分かれて調べ、互いに情報を交換しあった。2学期に入り、自分たちで考えたプランを観光会社の人に見てもらったり、交流校の友達からいろいろな情報を提供してもらったりしながら、二泊三日の修学旅行の計画を立ててきた。そこで、自分たちで作り上げた修学旅行を、Web ページを使って公開することにした。そのために、修学旅行に行く前に、『修学旅行 Web ページ』を制作するための情報モラルの重要性を捉えながら、情報の発信者としての表現力や判断力をつけさせたいと考えた。著作権や肖像権など Web ページで情報を発信するときのマナーやルールについての意識を高め、修学旅行当日に取材や写真撮影を行わせたいと考えた。修学旅行後に、『修学旅行 Web ページ』の制作を行い本単元のまとめとなった。

実 際 の 活 動 の 様 子

計画を立てる



先輩が作った
ホームページを参考に



鶴ヶ城の撮影について
電話で確認

た。この教材は、学校の事情によって自由に書き換えてもよいとのことだったので、修正して使った。その後、教師が予察で撮ってきた写真を使って、著作権と肖像権について考えさせた。はっきりしない写真については、携帯電話を使い、問い合わせをさせた。この学習で、自分たちで Web ページを発信するときの情報モラルを確認することができた。その後、自分の担当するページを決め、修学旅行当日の写真の撮り方や許可のもらい方などを確認した。

計画を実行する



リンゴ園での取材



田楽屋での取材

取材することになった。そのため、各グループごとに、携帯電話を利用し互いに情報交換をし、自分たちの力で取材活動を行った。



携帯電話を使っ の 情 報 交 換



ジャストスマイル3
情報モラル実践ガイドを利用



授業のまとめ

修学旅行に行き、自分の担当場所で、取材を行った。写真も子ども達が撮影した。その場で、修学旅行 Web ページに使いたいことを伝え許可をもらっていた。特に2日目は、グループ行動だったので自分たちで計画を立て、



まとめる・表現する



2人組で自分の担当する修学旅行Webページの作成

- ① 修学旅行 Web ページに必要な材料を集め、必要な物を取捨選択する。
- ② 取材や集めた材料をもとに、各ページの構成を紙に下書きする。
 - 写真や絵、文章をレイアウトする。
 - 読み手を意識して文章を書く。
- ③ 教師に下書きを提出し指導を受ける。
- ④ 下書きをもとに Web ページを作る。
 - レイアウトを決める。
 - 画像（写真や絵、地図）を貼り付ける。
 - 校内 LAN で作成した Web ページを見合い、作品の相互評価を行う。
- ⑤ 相互評価をもとに、再編成して Web ページを仕上げる。
- ⑥ インターネット上に Web ページを公開し、多くの人に見てもらえるように働きかける。



Aグループのページ



赤ペコのページ



七日町のページ

[成 果 と 課 題]

成果《子ども達が学んだこと》

今までに、Web ページを作った経験のある児童は15%であった。見ることは全員が経験し、日常的に利用している。今までは見る側だった児童が、発信者として立場を変えたときに、今まで知らなかった多くのことを学べたと思う。発信者としての責任の大きさは、子ども達が想像していた以上のものだったはずだ。発信しようとしている内容が「正しい情報かどうか」「どんな人が見ても大丈夫な情報か」発信者として情報モラルが問われていることを肌で感じ、いろいろなことを学ぶことができた。

《子ども達に着いた力》

- ・伝えたい事柄に応じて、画像や資料を収集したり選択したりする力を身につけられた。
- ・情報を得るために、メディアを活用する力が向上した。インターネットを利用したり、携帯電話を使い直接聞いたりし、自分が必要としている情報を知ることができた。
- ・取材や電話での問い合わせなどを通して、自分の知らない人とのコミュニケーションをとる力が身についた。
- ・自分の紹介するページの相手の立場や思いを知り、発信者としての責任の重さや人を思いやる心が育った。
- ・自分たちの発信したい情報を伝えるためには、どんな言葉が適切か、どう表現すれば相手に分かりやすいかなどを考え文章を書くことにより表現力の向上がみられた。

課題

- ・情報メディアの数の確保が十分とは言えなかった。デジカメや携帯電話が、もっとあると計画も変わったと思う。しかし、他校に比べ本校は充実していると思うので、より一層の充実を図りたい。
- ・初めての会津若松の修学旅行、Web ページの制作ということで、準備や計画を立てるのが大変だった。

[実 践 成 功 の た め の 秘 訣]

まず、自分たちの力でWeb ページを作りたいという気持ちを持たせることが大切である。今回は、今まで本校の6年生が作ったWeb ページを見せ、Web ページ作りの興味・関心を持たせた。

題材は、子ども達が一番楽しみにしている修学旅行にした。自分たちで計画した修学旅行をWeb ページで発信したい気持ちが強いからである。

今回の実践では、発信者としての責任をどのようにして持たせるのかがとても重要なことになってくる。本校では、情報機器等の活用に関する段階表と情報モラル的な指導に関する段階表があり、その中で各学年ごとに設定された内容を進めてきている。その土台のもとに、情報の発信者としての責任を持たせることになるので、ポイントを押さえ指導していくことにした。